

## 平成 31 年度 生涯学習・社会教育関係職員研修事業パワーアップセミナー (2回目:Aコース)実施報告書 (HP版)

- ◆開催日時 令和元年 10 月 21 日 (月) 10:00～16:00
- ◆会場 山形県青年の家 (天童市小路 1-7-8)
- ◆対象 市町村社会教育・生涯学習関係職員 (公民館職員・コミュニティセンター職員含む)のうち、経験年数が2年未満の初任者
- ◆講師・事例提供者
  - ・講師 井上 昌幸 氏  
(栃木県立足利工業高等学校定時制教頭、国立教育政策研究所フェロー)
  - ・事例提供者 横山 諒 氏 (長井市教育委員会文化生涯学習課生涯学習係主事)  
四釜 亜美 氏 (長井市教育委員会文化生涯学習課生涯学習係主事)
- ◆出席者数 申込者 32 名中 28 名出席 (出席率 87.5%)

### ◆内容

時 間	内 容
10:00～	◆講義・グループワーク (講師:井上昌幸氏) 「地域学校協働活動って何?～社会教育行政の果たす役割～」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ学校と地域の連携・協働?</li> <li>・学校づくりから地域づくりへ</li> <li>・協働について考える</li> </ul>
11:50～	昼食休憩
13:00～	◆事例提供・グループワーク (事例提供:横山氏、四釜氏) 「社会教育行政が担う地域学校協働活動」
15:50～	諸連絡・アンケート記入 16:00 終了

- ◆主催 山形県教育委員会 公益財団法人山形県生涯学習文化財団

### ◆当日の様子

#### ○午前：講義・グループワーク

午前中は講師の井上氏より、地域学校協働活動に取り組む意義や、事業にあたって社会教育行政側がもっておくべき視点などについて、国の動向を踏まえ、ご講義いただきました。

途中でグループ内で自己紹介をしたあと、何を地域と捉えるのか、「支援」と「協働」の違いは何かなど、グループ内で意見交流を行い、地域学校協働活動についての理解を深めました。



井上氏の講義の様子



グループ内での自己紹介の様子



グループ内での意見交流の様子

**\*参加者の声\***

- ・井上先生から大変わかりやすいお話をお聞きしました。明日から生かしていきたいと思います。
- ・「地域学校協働活動」「コミュニティスクール」という言葉を何度も耳にしてきましたが、中々理解が進みませんでした。今回の研修でだいぶ見えてくるものがありました。
- ・学校と地域の連携を取ることが重要であり、それぞれの目的を共有する必要があることが分かった。
- ・学校教育とコミュニティスクールについて、詳しく知ることが出来ました。話し合う機会も多かったため、他の市町の状況も知ることが出来ました。

**○午後：事例提供とグループワーク「社会教育行政が担う地域学校協働活動」**

午後は社会教育行政が担う地域学校協働活動の実態について長井市の事例を紹介いただきました。長井市では平成30年度までに市内すべての小中学校へ地域学校協働本部及びコミュニティ・スクールが設置され、学校だけでなく地域で子どもたちを育てていく基盤が作られていったとのこと。学校教育課が担う業務と社会教育担当課が担う業務や、数年事業を行って見えてきた成果と課題など、具体的なお話をいただくことができ、これから本格的に取り組みを始めようとする市町村の受講生からは「参考になった」という声がたくさん聞かれました。

また、事例発表後のグループワークでは、各自の市町村で取り組みそうなことや、地域の中でどのような連携が必要かなど、積極的に意見をかわす受講生の姿が見られました。



長井市の事例についてお話いただく様子



受講生からはたくさんの質問が出されました



グループワークの様子（１）



グループワークの様子（２）



グループで話し合ったことを発表する様子（１）



グループで話し合ったことを発表する様子（２）

**\*参加者の声\***

- ・長井市の事例を聞くことができたのは、大変良かった。
- ・コミュニティ・スクールの導入については本市でも緊急の課題として取り組もうと考えており、全小・中学校で導入している長井市の発表は大変参考とさせていただける内容と思った。機会があれば具体的な協議会の運営内容についてもお伺いしたい。
- ・地域学校協働活動とは、というところから学ぶことができた。井上先生のお話も、長井市の先進的な事例提供も大変勉強になりました。学校が支えられるだけでなく、どう協働していくとよいか、今後考えてみたい。